

## 日本淡水産うしけのり屬ノ一種

たにうしけのりニ就テ

岡 田 喜 一

Yoshi, OKADA: Notes on *Bangia atropurpurea* (ROTH.) Ag. found in Japan.

うしけのり屬 (*Bangia*) ノ藻類中、最モ普通ノモノハ海産種うしけのり *Bangia fuscopurpurea* (DILLW.) LYNGB. デ、本邦ノ沿岸各地ニ産シ、歐米ニモ廣ク分布シテキル。此外ニ本邦産トシテハ *Bangia ciliaris* CARM.\* ト云フ甚ダ小サイ海産種モ産出スルコトヲ報ゼラレキル。

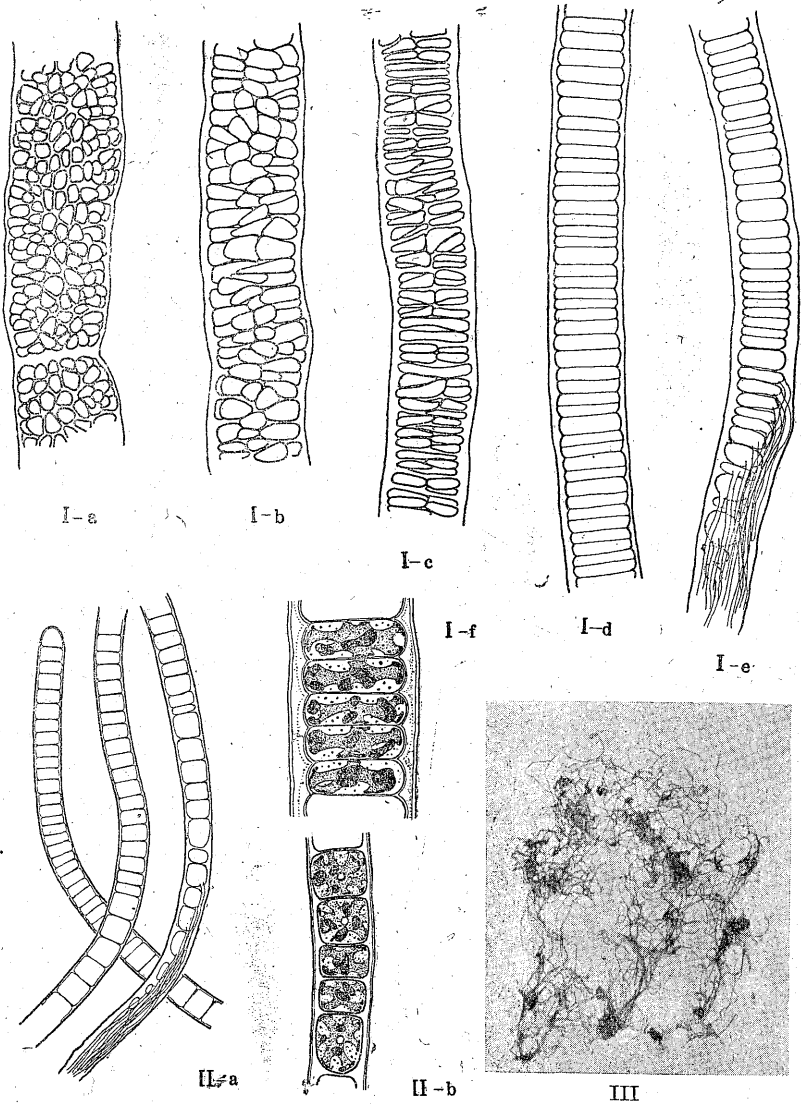
*Bangia* 屬中ノ淡水産ノ種類トシテハ從來、唯一種ノミガ知ラレテキル。即チ *Bangia atropurpurea* (ROTH.) Ag. デアツテ、此モノハ北米及ビ歐洲 (獨、伊、佛、英、埃等) ニ廣ク分布スルモノデアルガ、亞細亞洲カラハ全く未知ノ種類デアル。

一昨年ノ春、筆者ハ偶、山梨縣雨畑川ノ一支流ヲ溯行中、溪流ノ岩上及ビ岸邊ノ枯木上ニ暗紫褐色ヲ呈シタ毛狀ノ見馴レス藻類ガ一面ニ覆フテキル景觀ニ遭遇シタ。當時ソノ異様ナ體色ト着生狀態カラ一見シテ本邦既知ノモノデハナク且ツ藍藻類ヤ珪藻類ニ屬スルモノデナイコトハ察知シ得ラレタガ、單ニ肉眼的ノ觀察ノミデハ如何ナル部門ノ藻類トモ判定シ得ズタ *Bangia* 屬ノモノニ酷似シテ居ルト直感シタ。然シ何分ニモ *Bangia* 屬ノモノハ前記ノ様ニ主トシテ海産種デアリ、唯一ノ淡水産ノモノモ亞細亞洲カラハ未知デアリ、然モ此様ナ深山ノ溪谷ニ産スルコトハ一寸想像ノ外デアツタノデ異常ノ興味ヲ以テ採集シテ來タ。

依テ歸京後、直チニ檢鏡シタ所ガ果シテ之ハ *Bangia* 屬ノ一種デアリ、然モ絲狀體ノ先端部カラ盛ニ單孢子ヲ放出シテキル狀態ヲ觀察シ得ラレタ。

然シ種名ノ決定ニ當ツテ問題トナツタ點ハ此資料中ニ二型ノモノガ混ジテ居タコトデ、其一ハ挿圖 II a 及ビ b ニ圖示シタ様ナ絲狀體ノ細イ、榮養細胞ガ方形ニ近イ形狀ノモノト他ハ挿圖 I a~f ニ圖示シタ様ナ絲狀體ノ甚ダ太イ、榮養細胞ガ著シク扁平 (丈低イ) デ、體ノ色彩モ稍、濃ク暗紫褐色ヲ呈スル個體デアツテ、此兩者ハ一見甚ダシイ差異ヲ呈シテ居リ、直チニ以テ同一種ト認

\* YENDO, Notes on Algae new to Japan, VI, 植雜, 30 卷, 51 頁, 1916.



たにうしけのり *Bangia atropurpurea* (ROTH.) AG.

I. 太型ノ個體: a 絲狀體ノ先端部(單孢子ヲ形成ス), b~d 先端部近クヨリ順次基部近ク至ヲ區間, e 基部(根様絲ヲ出ス), f 基部=近イ營養細胞(體細胞ト色素體ノ形狀ヲ示ス); II. 細型ノ個體: a 左ハ絲狀體ノ先端部, 右ハ基部, 中央ハ兩者中間部, b 基部=近イ營養細胞(體細胞ト色素體ノ形狀ヲ示ス); III. 體ノ全形。(Ia~e 及ビ IIIa ハ何レモ 252 倍, If 及ビ II b ハ何レモ 504 倍, III ハ實大)

定スルニハ聊カ不合理ノ點ガアル様ニ考ヘラレタ。

而シテ此細型ノモノハ歐米ニ分布スル唯一ノ淡水産種デアル *Bangia atropurpurea* (ROTH.) AG. トヨク合致スル點デ直チニ解決シ得タガ、太型ノモノニ就テハ其後、文獻、比較參考標品ニ就テ検討ヲ重ネタ結果、ヤハリ細型ノモノト同一種デアルト認定シ、和名ヲたにうしけのり(溪牛毛のり)ト附シ、此處ニ報告スルニ到ツタ。之蓋シ此屬ノモノハ元來、個體ノ發育程度、榮養其他ノ條件ニ依テ體細胞ノ大キサ、體色等ニ著シイ差異ヲ生ズル點ガ明ラカトナツタ事ニ基クモノデ、且ツ此細型ノ個體ノ何レモ sterile ノモノデアル點カラ見テ前記ノ太型ノモノハ蓋シ充分ニ成熟シタ時ノ状態デアリ、細型ノモノハ之ヨリ遅レテ發生シタ若イ個體カ或ハ發育不十分ナモノニ過ギナイト考ヘル。

**たにうしけのり (溪牛毛のり) *Bangia atropurpurea* (ROTH.) AG.**

C. AG., Icon. Alg. Eur. pl. 25 (1828); KÜTZ., Sp. Alg. p. 361 (1849); KÜTZ., Tab. Phyc. III, pl. 30, 3 (1853); RABENH., Fl. Eur. Alg. III, p. 398 (1864); J. AG. Till. Algern. Syst. VII, p. 36, pl. 1, figs. 28~33 (1883); WOLL., Freshw. Alg. U. S. p. 55, pl. 67, figs. 9~11 (1887); DE-TONI, Syll. Alg. IV, sect. I, p. 10 (1897); HAMEL, Floridées de France, Rev. Alg. I, p. 447, fig. III d (1924); PASCHER & SCHILLER in PASCHER, Süßwasserfl. XI, p. 158, fig. 12 (1925).

*Conferva atropurpurea* ROTH., Cat. bot. III, p. 298, pl. 6 (1806); DILLW., Brit. Conf. pl. 103 (1809)

絲狀體ノ長サ 2~4.5 cm, 幅 20~98 $\mu$ ; sterile ノ體細胞ノ長サ 8~20 $\mu$ , 幅 18~20 $\mu$ ; 充分成熟シタ絲狀體ノ長サ 5~15 $\mu$ , 幅 35~50 $\mu$ ; 單孢子ヲ有スル絲狀體ノ上部ノ幅 50~95 $\mu$ .

採集地： 山梨縣南巨摩郡硯島村雨畑川支流奥澤谷上流。海拔約 650 m。杉林中ヲ流レル小溪流ノ飛沫ヲ浴ビル岩上或ハ枯木上ニ密生シ、生時暗紫褐色ヲ呈スル。自生區域ハ極メテ限定サレテ居ル。

採集年月日： 1941 年 4 月 6 日。

【追記】 前記「溪牛毛のり」ニ就テ其後ノ狀況ヲ觀察スルタメ、本年 4 月 2 日、原産地ニ再踏査ヲ行ツタノデ以下其結果ヲ追記スル。

本年度該藻ノ發育状態ハ 3 年前ノ發見當時ニ比シテ著シク悪ク、肉眼的ニハ殆ンド認めラレナイ程度デアツタガ、仔細ニ點檢スレバ漸ク 1 cm 内外ニ生育シタ絲狀體ガ岩盤(石墨片岩) 或ハ流域ノ倒木ノ表面ニ點々ト疎生シテ居ル事ヲ認知シ得ラレタ。然ジテ此兩年度ノ調査ハ其踏査時期ガ殆ンド同ジニモ拘ラズソノ生育状態ニ此様ニ著シイ相違ヲ示シテ居ルノハ概シテソノ年ノ天候ノ如何ニ依ルモノト思ハレル。訖チ、前年度ニハ自生地附近ハ

山櫻、山吹、三葉躑躅ナドノ花盛リテ溪谷ノ春ハ正ニ酣ナル景觀ヲ呈シテ居ツタガ、本年度ハ四圍ノ草木ハ芽モ未ダ殆ソド開舒セズ、見渡ス限リダマ蕭條タル冬枯ノ姿ノマ、デアツテ山ノ人々ノ話ニ依レバ例年ニ比シテ殆ソド1ヶ月モ遅レテキル變調ノ年デアルトノ事デアツタ。

然シ兎ニ角、該藻ガ依然トシテ此產地ニ自生シテ居ル事ハ確實デアリ、本年度モ今後半月モ經テバ此產地ノ溪谷ハ一面ニ該藻ノ夥シイ繁殖状態ヲ見ラレ得ルモノト豫測セラレタ。

本年度測定シタ該自生地ノ水温ハ  $6.5^{\circ}\text{C}$  (氣温ト同温)、pH 7.4 デアリ、本流(雨畑川)ノ上流區域ハ  $5^{\circ}\text{C}$  アツテみづを (*Hydrurus foetidus* KIRCHNER) ノ繁殖夥シク、ソノ長イモノハ 20 cm ニ達スルモノモアツタ。

尙、此自生地附近(南巨摩郡西八代郡)ハ山峽ニモ拘ラズ草鹽、鹽ノ上、鹽澤、長鹽等ノ地名ニテ豫測セラレル様ニ多少ノ鹽分ヲ含有スル溪流ノ存在スル事ヲ考察サレルノハ興味深イ事デ。現ニ此產地ノ溪流ノ注入スル早川ノ上流ニハ有名ナ西山温泉(弱食鹽泉)モアル位デアル。更ニ又、此產地ノ水質調査ヲ行ヘバ興味アル結果ヲ得ラレルモノト豫測サレタガ、生憎今回採集シタ材料ダケデハ不充分デアリ、詳細ニ確定的ナ結果ヲ得ルニハ到ラナカッタガ、此資料ニ基イテ行ツタ Cl ノ含有量ハ 50 mg/l Cl' (稻葉傳三郎氏測定)ト云フ結果ヲ示シテ居リ、兎ニ角純粹ナ淡水デナイ點ハ此屬ノ他ノ種類ガ悉ク海産種デアル點ト思ヒ合セテ更ニ格別ノ興味ヲ感ズル所以デアル。(1944年4月6日記)

#### ○代用野菜トシテノ野草ノ資格 (前川文夫)

近時都市デノ野菜ノ配給難トソレニ基ツク量ノ不足ハ戰時農園ノ開始ト食用野草ノ利用化トヲ結果シ、從來見ラレヌ風景ヲ現出スルニ到ツタガ、後者ノ徹底或ハ能率化ニハ今迄ノ單ナル食用可能トイフ程度ノ微温的ノモノヤ、珍品ヲ食フトイフイカモノ食ヒ乃至趣味的ノモノデハ殆ソド意味ガナイ、大體次ノ諸條件ノ少クモ大部分ヲ滿タシテ始メテ代用野菜トシテノ野草ノ位置ガ明示サレルモノト思フ。即チ

- (1) 消費地ニ近イ地域ニ見出シ得テ、消費者ガソノ採集ニ距離上ノ負擔ノナイコト、
- (2) 量ノ多ク自生シ、少時間ノ探求デ必要量ヲ採リウルト、
- (3) 味が良イコト、少クトモ不味ナラザルコト、
- (4) 調理上、時間、努力、及ビ燃料等ヲ多ク要セザルコト、
- (5) 種類ノ識別ガ容易デアツテ、マギレ易イ有毒或ハ不味、苦味ノモノガナイコト、
- (6) 營養上從來ノ野菜類ニ近イカ又ハコレヲ凌駕スルモノナルコト、
- (7) 反復シテ採集ノ出來ルモノデアルコト、

等デアル。ガ實際問題トナルト中々コレ全部ヲ滿タスモノハ見當ラナイ、全クノ話ガコレダケノ條件ノ揃ツタモノハモウ野菜トシテモ利用サレ 所謂野ニ遣ツテ居ナイカラデアツテ、野草トシテハコノ内ノ何割カヲ滿スモノデ我慢スルコト、ナリ、ソレナラバ割合ニコノ種ニ乏シトシナイノデアル。